

●求人サイトを作る流れ(理想は「ながの人事室」 <https://nagano-jinji.jp/>)

島移住ツアー「海士町」 ←webページに求人募集や島移住ツアーの詳細を載せていく

事業所に実際に働かせてもらい(週1×3日×2人)、身近な友人の事業所を含め、5月末までにインタビュー日程を決定(できそうな事業所はそれよりも前に)

→合計10事業所目標

①山口さんと手嶋さん

②友人の事業所、元目、朝倉が働く事業所

③Googleフォームで承諾してくれた人(募集必要度が高い事業所、島内の問題解決に必要な事業所優先)

④島留学生のいない事業所

※事業所に若手の方がいれば優先してインタビューする

募集しているかどうかよりも、一緒に作っていく!

ボランティアから初めてもいいかも

・議事録AI媒体の用意、カメラ・インタビューする人などの役割分担

・インタビュー内容(質問項目)を考える→インタビューする

※繰り返して精度を上げる

・まとめて記事する、webページの構築(SCOPEさんと連携)

5.6月に初回掲載

限られたコミュニティに発信して、アンバサダーに流していく(関係人口)

・5月の研修の際に、島留学生へのインタビュー協力をお願いをGoogleフォームで行う(1つでもいいので記事完成後にして、実際の記事を見てイメージを掴んでもらった上で行う)

(可否、希望日時、事業所の方も同席してもらえるか)

【インタビュー質問項目】

・どんな仕事をしているのか、日々の業務内容

・なぜこの働き方を選択したのか(スポットワーク)

・なぜ海士町を選んだのか

・仕事(生活)をするうえでのやりがい

・仕事を通して感じた自己成長(若い人限定? 40代?)

・今どんなことに困っているか(島内の問題に関わるなら次の事業所決めの参考にする)

・今後どんな人(人柄)と協力して仕事をしていきたいか

・仕事(生活)を通して描く未来図

・(Iターン・Uターンの方・若手の方であれば)一言アドバイス

・(島留学生同席の場合)専門的な内容

ボランティアさせてくださいといえる関係性を作るためにもインタビュー

インタビューする上で、本求人サイトのバックグラウンド共通認識

・都会では生活するために仕事する、海士町では生活の中に仕事(役割)がある。キャリアアップ
年収アップではなく暮らし全体の豊かさを求めている人に寄り添いたい。→複業協同組合寄りの
考え

・都会の喧騒から離れた小さなコミュニティは未来の日本の縮図。今ある原風景を守るために島
での問題解決を通して自己成長の機会を得たい人に向けての発信。